



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 増田製粉所

コード番号 2008 URL <http://www.masufun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 武政 亮佐

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長

(氏名) 岩永 和弘

TEL 078-681-6701

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,437	△7.6	401	52.2	429	56.1	266	80.7
28年3月期第3四半期	6,969	2.4	263	32.2	275	30.4	147	30.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 359百万円 (101.9%) 28年3月期第3四半期 178百万円 (△8.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	29.20	—
28年3月期第3四半期	16.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	7,712	4,777	55.2	466.51
28年3月期	7,683	4,478	51.8	436.51

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,253百万円 28年3月期 3,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	6.00	6.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	△0.3	400	6.3	420	7.4	250	11.8	27.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	10,000,000 株	28年3月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	882,015 株	28年3月期	880,565 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	9,119,170 株	28年3月期3Q	9,120,002 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策等を背景に緩やかな回復基調にあるものの、消費者の低価格・節約志向が強く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは企業体質強化に努め、合理化、効率化を強力に推進し、当社グループの販売網や製品特性を活かした販路拡大の促進など、業績の向上に努力いたしますとともに、業務提携先である日東富士製粉株式会社とのシナジー効果の創出に注力いたしました。一方で、外国産小麦の政府売渡価格が平成28年4月から平均7.1%引き下げられたことに伴い、業務用小麦粉の販売価格を改定いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は64億3千7百万円（前年同期比5億3千1百万円減、7.6%減）となりましたが、営業利益は4億1百万円（前年同期比1億3千7百万円増、52.2%増）、経常利益は4億2千9百万円（前年同期比1億5千4百万円増、56.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億6千6百万円（前年同期比1億1千8百万円増、80.7%増）、四半期包括利益は3億5千9百万円（前年同期比1億8千1百万円増、101.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①製粉

当社グループの主要事業である製粉事業におきましては、小麦粉需要の低迷に加え、相次ぐ原料小麦の価格変動、販売競争の激化等、厳しい状況下で推移いたしました。当社は、主力製品である「宝笠印小麦粉」をはじめ、国内産小麦で製造したこだわりのある製品の積極的な販売活動を推進するとともに、生産性向上およびコスト削減に努めました。また、販売価格につきましても、原価が適正に反映できるようになりました。この結果、売上高は44億1千1百万円（前年同期比3億9千万円減、8.1%減）となりましたが、営業利益は3億3千7百万円（前年同期比1億6千6百万円増、97.9%増）となりました。

②食品

食品事業におきましては、乾麺需要の低迷等の影響をうけ、売上高は20億2千7百万円（前年同期比1億4千1百万円減、6.5%減）、営業利益は5千8百万円（前年同期比3千4百万円減、37.5%減）となりました。

当社グループの売上高は、上半期と下半期とでその構成内容に季節要因による著しい相違があります。これは、当社グループの食品事業において、主要製品である乾麺の需要期が夏場であり、4月～8月に売上が集中する傾向にあるためであります。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末に比べ2千9百万円増加し、77億1千2百万円となりました。

流動資産残高は、前連結会計年度末に比べ8千9百万円増加し、46億2千7百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が2億1千3百万円、受取手形及び売掛金が1億1百万円増加した一方で、商品及び製品が2億5千2百万円減少したことによるものであります。

固定資産残高は、前連結会計年度末に比べ6千万円減少し、30億8千5百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が9千1百万円増加した一方で、有形固定資産が1億4千2百万円減少したことによるものであります。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2億6千9百万円減少し、29億3千4百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が1億4千8百万円、長短借入金が7千3百万円、未払法人税等が4千3百万円減少したことによるものであります。

純資産の残高は、利益剰余金が2億1千1百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億9千9百万円増加し、47億7千7百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日に公表しました平成29年3月期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の通期業績予想につきまして変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これにより、損益に与える影響はありません。

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社におけるたな卸資産のうち、商品、原材料及び貯蔵品の評価方法は、従来、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により評価しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更は、原料小麦において、比較的安定して推移していた国内小麦相場が近年において著しく変動していることから、価格変動の影響をより適時にたな卸資産の評価および期間損益に反映させることが妥当と判断したこと、および当社の国内産小麦で製造した特徴ある製品等の販売実績が定着したことを理由として行うものであります。また、商品、材料及び貯蔵品についても、事務処理統一の観点からこれにあわせております。

当該会計方針の変更による影響は軽微であるため、遡及適用はしていません。

（2）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,008,685	1,221,762
受取手形及び売掛金	996,743	1,098,655
商品及び製品	1,135,884	883,280
原材料及び貯蔵品	1,251,267	1,297,572
繰延税金資産	43,720	25,642
その他	102,525	102,046
貸倒引当金	△1,210	△1,850
流動資産合計	4,537,616	4,627,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,301,387	1,245,641
機械装置及び運搬具(純額)	687,726	599,263
土地	494,931	494,931
リース資産(純額)	870	—
その他(純額)	30,720	33,168
有形固定資産合計	2,515,634	2,373,004
無形固定資産		
その他	42,759	35,296
無形固定資産合計	42,759	35,296
投資その他の資産		
投資有価証券	412,877	504,572
長期貸付金	460	1,710
繰延税金資産	308	400
その他	179,823	175,891
貸倒引当金	△6,250	△5,346
投資その他の資産合計	587,217	677,228
固定資産合計	3,145,612	3,085,529
資産合計	7,683,228	7,712,640

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	654,586	505,943
短期借入金	1,376,648	1,175,285
リース債務	913	—
未払法人税等	97,082	53,702
その他	402,325	371,603
流動負債合計	2,531,556	2,106,534
固定負債		
長期借入金	496,063	624,077
繰延税金負債	33,867	59,811
退職給付に係る負債	72,438	75,721
その他	70,464	68,632
固定負債合計	672,833	828,243
負債合計	3,204,389	2,934,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,638	67,638
利益剰余金	3,478,652	3,690,208
自己株式	△203,405	△203,874
株主資本合計	3,842,885	4,053,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,820	199,667
その他の包括利益累計額合計	137,820	199,667
非支配株主持分	498,133	524,222
純資産合計	4,478,839	4,777,862
負債純資産合計	7,683,228	7,712,640

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	6,969,127	6,437,459
売上原価	5,733,794	5,063,720
売上総利益	1,235,333	1,373,739
販売費及び一般管理費	971,736	972,546
営業利益	263,596	401,192
営業外収益		
受取利息	293	282
受取配当金	10,967	12,249
保険返戻金	1,926	10,637
その他	5,122	9,952
営業外収益合計	18,310	33,122
営業外費用		
支払利息	6,552	4,531
その他	353	532
営業外費用合計	6,905	5,063
経常利益	275,000	429,251
特別利益		
固定資産売却益	71	259
特別利益合計	71	259
特別損失		
固定資産除却損	1,074	171
特別損失合計	1,074	171
税金等調整前四半期純利益	273,997	429,339
法人税等	88,736	131,881
四半期純利益	185,261	297,458
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	147,318	266,272
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,942	31,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,137	62,135
その他の包括利益合計	△7,137	62,135
四半期包括利益	178,123	359,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,716	328,119
非支配株主に係る四半期包括利益	40,407	31,473

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,800,865	2,168,262	6,969,127	—	6,969,127
セグメント間の内部売上高又は振替高	118,901	2,774	121,675	△121,675	—
計	4,919,766	2,171,036	7,090,803	△121,675	6,969,127
セグメント利益	170,393	92,906	263,299	296	263,596

(注) 1. セグメント利益の調整額296千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(注) 2
	製粉	食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,410,221	2,027,237	6,437,459	—	6,437,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	92,179	2,629	94,809	△94,809	—
計	4,502,401	2,029,867	6,532,269	△94,809	6,437,459
セグメント利益	337,139	58,079	395,218	5,973	401,192

(注) 1. セグメント利益の調整額5,973千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整しております。